

# 防寒対策

いちばん簡単なのは寒冷紗や不織布、割繊維不織布などで覆う方法です。低温性のコマツナ、シュンギクなど露地よりはるかに生長がよく、冬でも良質品のものが得られます。フィルムをトンネル状に覆えば、日中の温度上昇は格段によいので、さらに高い保温力が得られます。

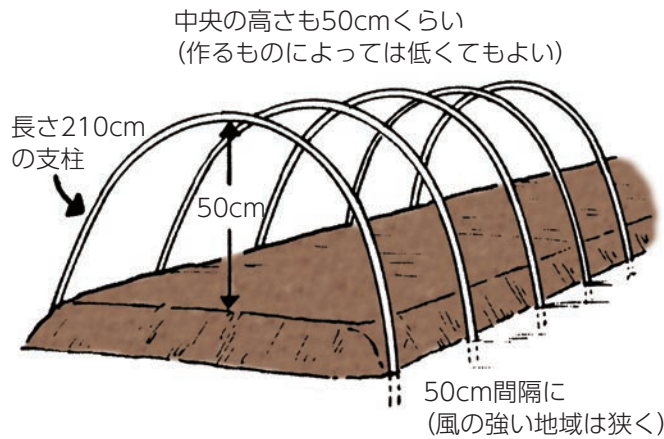
早春まきのコカブ、ニンジンなど、春植えの果菜類などの生育をたいへん促進でき早どりに有効です。日中の温度を上げすぎないように、穴をあけたり裾を上げたりして換気することが大切です。

## べたがけ

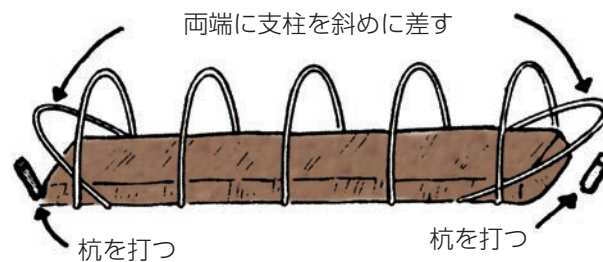
不織布や割繊維不織布などを、直接葉の上に覆う。

## ビニールトンネルの作り方 ①

### ① 支柱を立てる



### ② 畝の両側に杭を打ち、斜めに支柱を差す

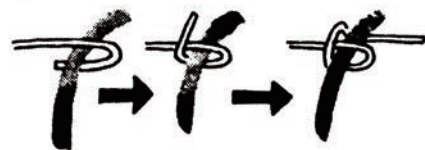


### ③ 支柱と杭をテープで結び固定する

支柱を固定しないと、風でゆれ、ビニールが破れる。



結び方



このように結べば支柱は動かず、除去するときも支柱を抜けば、ヒモは結び目ができない。

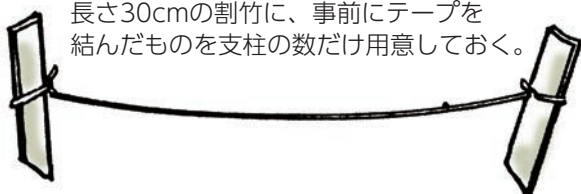
#### ④ ビニールをピンと張る

暖かいときに、ビニールを杭に結び、思いっきり引っ張ってピンと張り、一方を反対側の杭に結ぶ。



#### ⑤ 支柱の間をテープで押さえる

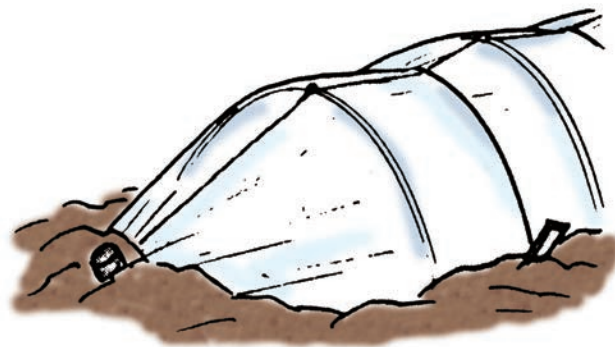
長さ30cmの割竹に、事前にテープを結んだものを支柱の数だけ用意しておく。



風に飛ばされないようすばやく両側からビニールを押さえる。



#### ⑥ ビニールのすそを風が吹きこまぬようしっかりと土寄せする



### ビニールトンネルの作り方 ②

- ① 竹やプラスチックなどの支柱材を、溝に等間隔で差し込む。畝をまたぐようにして支柱を曲げ、支柱のもう片方の端を溝に差す。
- ② ビニールの端は土中に埋め込み、固定する。
- ③ トンネル用の被覆フィルムを、支柱の上にかぶせる。
- ④ ビニールの両わきも土をかぶせて固定する。